

広報

いちき串木野

R8.9.24 発行

9

Vol.251

MACHINAKA



特集

みんなでつくる、商店街の未来
ーにぎわいを生む新たな取り組みー



いちき串木野市公式 LINE

イベント情報など配信中！ぜひご登録ください



みんなでつくる 商店街の未来

～ にぎわいを生む新たな取り組み ～

集まる

毎月第2土曜日のお楽しみ！

ワクワク・わいわい・マルシェ

商店街のにぎわいづくりを目的とした「ワクワク・わいわい・マルシェ」が今春から始まっています。

フリーマーケットなどが行われる“ワクワク”エリアと、美食が集まる“モグモグ”エリアの2つの空間が広がり、徐々に認知度も上がってきている、今注目のイベントです！

また、市内に事業所または住所がある場合、無料で出店できることから、マルシェデビューの事業者にもおすすめです。

市公式
Instagram



マルシェの概要

- 開催日 毎月第2土曜日
- 時 間 開催月により異なる
- 場 所 中央公園・(株)コアガス駐車場
など（いちき串木野市旭町）

※出店者募集やマルシェの詳細はInstagramで
随時案内します。



これまでのマルシェでは、キッチンカーやハンドメイド雑貨販売のほか、ワークショップ、ニュースポーツ体験なども行われました。

出店者インタビュー



にしのデザイン事務所
代表 西まさみさん

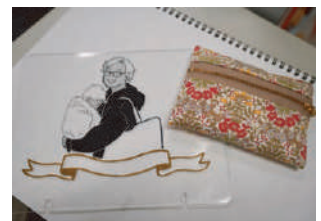
ストーリー性のあるイラスト動画で、企業や事業者のマーケティングを支援する“お絵かきクリエイター”として活躍。

「人とのつながりを感じられるマルシェです」

過去3回出店し、ポストカードやキーホルダーなどのオリジナルグッズや趣味の手芸作品の販売のほか、似顔絵サービスの提供を行ってきた西さん。

マルシェへの出店は、ワクワク・わいわい・マルシェが初めてだったと言います。「マルシェに出店することは小さな夢でした。ただ、子どもが小さいこともあり、市外で行われるマルシェに出店することは難しく、なかなか機会がなかったところに、このマルシェが開催されると聞き、やってみようと思えました。」

普段はSNSで仕事の情報発信を行う西さんにとって、マルシェでの人との出会いはとても刺激的だったと話します。「小学生やご高齢の方などSNS上で関わる機会の少ない方々や、ほかの出店者の方とも交流を持てることは純粋に楽しいです。マルシェをきっかけに、私や私の仕事を知ってくれる方も多く、人とのつながりを感じています」。



西さんデザインのマルシェのぼり旗



話す

若い世代のアイデアで描く未来！

東大生×商店街 意見交換会

東京大学が実施する教育プログラム「フィールドスタディ型政策協働プログラム(FS)」の一環で、東大生3名が本市を訪れました。

「東大FS」とは、全国の自治体が抱える社会的課題に対して、学生が現地活動等を通し、課題解決策を考え、地域に提案するというもの。

本市では「ワクワクする商店街づくり」を課題とし、商店街の魅力発信策を提案してもらうこととしています。

今回は、商店街関係者や地元高校生らと意見交換会を行ってもらいました。



教養学部2年
松枝さん

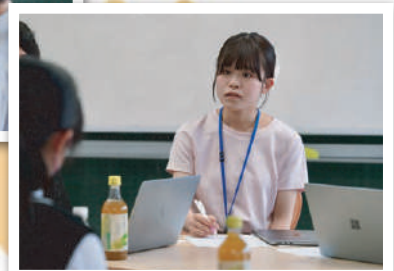


文学部4年
鳥居さん



経済学部4年
今井さん

意見交換会の様子と参加した東大生の感想



市民にとって商店街がどのような存在なのか、訪れる頻度や日常生活との関わりから、現在の課題、さらには「街にどのような機能やお店があるとよいか」といった将来への希望まで、参加者が熱心に語り合う時間となりました。

《今回の意見交換会を終えて》

今井さん「商店街が他の商業施設に対して優位性を発揮するためには、商店街全体として発揮すべき価値を明確に再定義する必要があると感じました」

鳥居さん「想像よりも商店街の範囲が広く、店の数や人通りの少なさ以外にも様々な課題があることがわかりました。“食のまち”の魅力を活かすなど独自性のある施策を検討していきたいです」

松枝さん「商店街の方々とお話しするなかで、まずは商店街内部の機運の再醸成が課題と感じました。また、若者にとって商店街を思い出の場所にしていくことが重要とも思います」



東大生の皆さんは、11月頃に再度本市を訪れ、今回の意見交換会を踏まえての課題解決案の提案と、改めて地元関係者との意見交換会を行ってしまい、来年2月に本市での報告会を開催する予定です。今後の動向にもぜひ注目してください。

8/7
～18

姉妹都市サリナス市へ 中高生を派遣しました



本市の中高生 8 名が、姉妹都市であるアメリカ・カリフォルニア州サリナス市を訪問しました。

ホームステイをしながら、現地の学校で授業体験やサリナス市長との面会、企業・大学訪問や農業施設見学など、さまざまなプログラムを体験。ホストファミリーや現地の学生たちとの交流を楽しみながら、アメリカの文化や暮らしを肌で感じる、充実した経験となりました。

8/22

リアル薩摩スチューデント 帰国報告会



ロンドン大学経済政治学院（LSE）に留学し、修士課程を終えた富永恵里衣さん（本市出身）による報告会が、薩摩藩英国留学生記念館で開催されました。

富永さんは、小学 6 年生の時に記念館を訪れ、薩摩スチューデントの志や偉業に感銘を受けたことがきっかけで海外留学を志し、昨年 9 月の渡英後は薩摩藩英国留学生記念館特派員として、現地から SNS 等で記念館を PR していただきました。

市内外から参加した 21 名の参加者は、留学中の経験談や今後の活動、目標に熱心に耳を傾けていました。

8/22

～わがまちの日本遺産を知ろう～ 三井串木野鉱山(株)工場見学＆砂金採り体験



三井串木野鉱山(株)で工場見学会と砂金採り体験を行いました。

日本遺産の構成文化財でもある串木野金山は 17 世紀半ば頃に島津氏によって開発が始まり、現在は三井串木野鉱山(株)が金の製錬などを行っています。

敷地内にある大正時代に建築された歴史ある五反田会館や金の製錬の仕組みなどの説明に、参加者は興味深く聞き入っていました。

砂金採り体験では、砂の中から砂金やオパールなど宝石が見えると、参加者から「きれい！」などと歓声が上がりました。

8/25

神村学園留学生が 日本料理に挑戦



中央地区まちづくり協議会は、神村学園専修学校の留学生を招き、日本料理教室を中央交流センターで開催しました。

地域の方のサポートを受けながら、留学生も調理に挑戦し、ちらし寿司やすまし汁、がねなど計 6 品の日本料理が完成しました。

その後、完成した料理を食べながら互いの国の文化について話したり、楽器演奏を一緒に聴いたり、交流を深めました。

参加したネパール出身のミラナさんは、「普段は日本料理を作ることがないので、とても楽しかった」と話してくれました。



8/13

令和8年熊本地震の被災地へ 脳神経外科センターから災害支援ナース派遣



「令和8年熊本地震」で被災した熊本県氷川町へ、脳神経外科センターの看護師2名が災害支援ナース第6陣として派遣されることから、同センターで出発式が行われました。

8月15日から18日まで、避難者の健康観察や、避難生活における二次的な健康被害の予防活動などにあたりました。

活動した野田・内田両看護師は、「辛い状況の中にあっても、互いに支え合いながら前向きに避難生活を送られる皆さんの姿に接し、私たち自身も大きな力をいただきました。今回の活動で得た経験を、今後の災害支援にも活かしていきたいと思います」と活動を振り返りました。

8/22

シリーズ講座 「ティータイム・クラス」開講



市来湊魅力創出プロジェクトの一環として、Museum Cafe 舟で、本市の歴史や文化を楽しく学ぶシリーズ講座「ティータイム・クラス」が始まりました。

第1回は、市来大里に約400年前から伝わる「市来の七夕踊」について、七夕踊伝承会の吉村正直会長が分かりやすく解説し、また、実際に使われる太鼓や鉦（かね）に触れる体験がありました。

ティータイムを楽しみながら、本市の新たな魅力に触れて、参加者からは大変好評でした。

8/13

羽島納涼盆踊り大会



羽島青年学級主催の「羽島納涼盆踊り大会」が、羽島れいめいふれあい公園にて開催されました。

当日はキッチンカーや射的などの屋台が並び、本市のジュニア・リーダークラブ「チェリーブロッサム」も運営に協力し、会場を盛り上げました。

地域の方やお盆で帰省中の方なども参加し、最後には大きな踊りの輪が広がりました。

世代を超えて人が集い、ふるさとのつながりを感じられる、あたたかな夏のひとときになりました。

8/22

第8回湊地区夏祭り



湊地区まちづくり協議会主催の「湊地区夏祭り」が、湊交流センター駐車場で開催されました。

市来中学校吹奏楽部による華やかな演奏がオープニングを飾り、五ツ太鼓の演舞など多彩なステージパフォーマンスで会場は盛り上がりました。

暑い中での開催となりましたが、多くの地域住民が来場し、笑顔に満ちた一日となりました。

8/23

川上踊



川上地区で、本市の郷土芸能「川上踊」が奉納されました。華やかな衣装に鉦（かね）や太鼓の音が境内に響き渡り、暑い中ではありましたが、練習の成果を十分に発揮した華麗で勇壮な踊りを披露しました。

踊り子の中には、毎年、川上踊に参加するために帰ってくる元川上小学校教員の方々などもおり、地域の宝を後世に大切に繋いでいこうという熱い思いがあふれる空間でした。

8/23

羽島南方神社太鼓踊



羽島南方神社で、本市の郷土芸能「羽島南方神社太鼓踊」が奉納されました。

小学生から社会人までの踊り子 19 名が、約 1 ヶ月にわたって稽古を重ね、本番では太鼓と鉦の音に合わせて、勇壮かつ優雅な踊りを披露しました。

会場では、羽島保育園児によるマーチング演奏をはじめ、三味線や氏子女性部による手踊り、エイサーなども披露され、多くの人でにぎわいました。

その後、夕方にかけては羽島地区内の各所を巡り、太鼓踊を奉納。親から子へ、子から孫へと受け継がれてきた太鼓踊が、多くの地域の皆さんによって支えられていることが伝わる一日となりました。

高校生郷土芸能サポーターが活躍！



高校生郷土芸能サポーターは、高校生が地域の郷土芸能の活動に参加し、その継承や魅力発信を支える取組です。

羽島南方神社太鼓踊では、踊り子として 7 名、広報活動に 2 名のサポーターが参加しました。太鼓踊奉納後に行われたボランティア証明書交付式では、ポスター制作を担当した串木野高校 2 年の出菜純菜さんが、証明書を手に「子どもたちから地域の方々まで、一生懸命取り組まれているこの踊りに関わることができて光栄です」と話しました。

高校生郷土芸能サポーターは随時募集しています。詳しくは、市ホームページ（右の二次元コード）をご覧ください。



LINEで
いちき串木野市
と友達になろう



本市のイベントや防災情報をはじめ、皆様に役立つ楽しい情報も発信しています。

便利な機能

イベントや
ごみの日等
欲しい情報を
配信

メニューや
キーワードから
行政情報へ
すぐアクセス

道路損傷箇所の
通報が LINE
からできる





8/19

第28回「海の日」マリンスポーツ大会 及びクリーンフェスティバル



青空の下、B&G 海洋センター艇庫周辺を会場に、第28回「海の日」マリンスポーツ大会及びクリーンフェスティバルが開催されました。

クリーンフェスティバルとして、五反田川沿いのゴミ拾いを行い、その後、これまで行われた海洋スポーツ教室の集大成としてSUP競争が行われました。

また親子でのSUP体験も行われ、夏休みの思い出に残る楽しいひとときになりました。

8/1

神村学園ダンス部 U-18 アジア大会優勝



8月1日に韓国・済州市で開催された国際ストリートダンスイベント「JEJU STREET LOCKING CAMP 2026(JSLC)」のU-18 ダンスコンテスト部門において、神村学園高等部・中部ダンス部が見事優勝しました。

日本、韓国、中国、タイ、シンガポールから12チームが集まり、2分30秒のパフォーマンスを競う大会で、創部初となる国際大会優勝となりました。

キャプテンの太利美湖さんは「自分たちのパフォーマンスを信じて結果を待ちました。優勝が決まったときは率直にうれしかったです」と喜びを語りました。

また7月28日の九州大会で準優勝を果たし、8月17日に横浜で開かれた全国大会にも出場した神村学園ダンス部。今後の活躍に目が離せません。

8/20
～23

Blue Ocean バレーボールクラブ 全日本中学校バレーボール選手権大会出場



8月4日から6日にかけて、鹿児島市の吉田文化体育センターで開催された第59回九州中学校バレーボール競技大会で、本市の男子中学生バレーボールチーム「Blue Ocean バレーボールクラブ」が準優勝に輝きました。

この結果を受け、同月20日から23日に広島県で開催された第56回全日本中学校バレーボール選手権大会に出場。長野県代表との初戦では惜しくも敗れましたが、選手たちは闘志あふれるプレーを披露し、全国の舞台で熱戦を繰り広げました。

8/21

串木野中 男子ソフトテニス部 全国大会出場



串木野中学校男子ソフトテニス部3年の井手上碧芭さんと長畑怜佑さんが、8月に島根県で行われた全国中学校ソフトテニス大会へ、九州ブロック代表として出場を果たしました。

2人は個人戦（ダブルス）で、県中学校総体準優勝、九州中学校ソフトテニス競技大会5位という成績を収め、全国の舞台に挑戦。北信越ブロック代表との初戦で惜しくも敗退となりましたが、最後まで諦めない粘り強いプレーを見せました。

井手上・長畑ペアは、「全国の舞台に立てて、最高の夏になりました。支えてくださった指導者や仲間、家族に感謝の気持ちでいっぱいです」と振り返りました。

8/22
～ 23

令和8年度国民スポーツ大会第46回九州ブロック大会 6人制バレーボール競技（成年男女）



令和8年度国民スポーツ大会第46回九州ブロック大会のバレーボール競技（成年男女）がFアリーナいちき串木野で開催され、九州ブロック1枠をかけた熱戦が繰り広げられました。

成年女子の部では、鹿児島県が優勝し、10月に行われる青森国スポへの出場権を獲得しました。

●大会成績

成年男子	第1位	福岡県
	第2位	長崎県
成年女子	第1位	鹿児島県
	第2位	宮崎県

8/23

令和8年度国民スポーツ大会 第46回九州ブロック大会 アーチェリー競技



令和8年度国民スポーツ大会第46回九州ブロック大会のアーチェリー競技が市来運動場で開催されました。

鹿児島県は少年男子が優勝、成年女子が3位となり、10月に開催される青森国スポへの出場権をともに獲得しました。

なお、少年男子（団体）メンバーとして、本市から中袴田遊さん（串木野高校2年）と吉留吾紳さん（串木野高校1年）が出場しました。

7/26

荒田真生さんが 福岡県杖道大会で優勝



約400年続く伝統武道“杖道”^{じょうどう}。7月26日に開催された福岡県杖道大会で、本市杖道会の荒田真生さんが、初段の部優勝を果たしました。

また7月20日開催の熊本県大会でも、同杖道会の選手が次の通り優秀な成績を残されました。

●熊本県杖道大会 大会成績

- ・5段の部 準優勝 神之田洋一
- ・4段の部 準優勝 荒田貴行
- ・初段の部 第3位 荒田真生

毎週月曜に串木野中学校武道館、金曜に誠道館で稽古を行っています。

（広告）

少林寺流空手道 龍勇館

串木野道場(失原町) 火の本
東市来道場(B&G) 水の本
【時間】18:30～20:00
年齢・性別・国籍問わず
多数のご参加お待ちしております!!
お問い合わせ先
090-7531-0726
代表：長野
※希望者は無料で
送迎いたします。

Instagram
@RYUYUKAN KARATE

高気圧 酸素カプセル

【効果ポイント】

- 睡眠不足
- 二日酔い
- 受験勉強
- 疲労回復
- ダイエット
- 美容
- スポーツ後
- 眼精疲労
- ケガの早期回復

酸素の期待できる効果

串木野本店
TEL (0998) 32-2044



5/30
~9/5

こどもチャレンジ体験プロジェクト「キッズスポーツ塾」(前期)開催



市では、子どもたちが様々なスポーツを楽しく学んで体験し、自分の興味や才能を発見できる場として、こどもチャレンジ体験プロジェクト「キッズスポーツ塾」を開催しています。

5月30日から前期講座として、市内小学生を対象に市来体育館や五反田川下流などで、スポーツ鬼ごっこやスナックゴルフ、SUPなど体験する機会の少ないスポーツにチャレンジしてきました。参加した子どもたちは、新鮮な気持ちで楽しそうに活動し、会場は終始子どもたちの笑顔で溢れていました。

後期は10月から、サッカー・ホッケー・タグラグビーなどを行う予定です。

7/3
~14

おもちゃ花火教室



夏休みを前に、花火を安全に楽しむための「おもちゃ花火教室」を、市内5ヶ所の幼年消防クラブで開催しました。

教室では、遊ぶ前に確認したい注意点や周囲へのマナーを消防隊員がわかりやすく説明したほか、日本煙火協会から提供された手持ち花火・噴出花火を使い、子どもたちが実際に点火を体験しました。

花火は“やって終わり”ではなく、その後が大切。燃え残りがないようにバケツの水で完全に消火する手順や、万が一、服に火がついてしまった場合の対処法も学びました。

色が次々と変わる花火に子どもたちは歓声を上げ、楽しみながらも、説明を聞くとときは真剣な表情を見せ、「守るべきルール」をしっかり学んだ大切な時間となりました。

市長の主な動き(8月)

日にち	内 容
1(土)	いちき串木野サマーフェスタ 2026
2(日)	第17回冠岳せせらぎフェスタ
4(火)	南日本政経懇話会 8月例会 (薩摩川内市)
6(木)	姉妹都市サリナス出発式
10(月)	薩摩国台湾輸出セミナー (薩摩川内市)
17(月)	原子力安全対策連絡協議会 (鹿児島市) 第42回市長旗ナイターソフトボール大会
19(水)	第2回県市長会 (出水市)
20(木)	介護認定審査会委員感謝状贈呈式 熊本地震被災地支援職員出発式 県パークゴルフ協会連合会大会
21(金)	姉妹都市サリナス派遣帰国報告 県造林協会総会 (鹿児島市) 県林業改良普及協会通常総会 (鹿児島市) リアル薩摩スチューデント帰国報告会
22(土)	湊地区夏祭り 国民スポーツ大会第46回九州ブロック大会アーチェリー競技開始式 羽島南方神社夏季大祭
23(日)	川上踊 国民スポーツ大会第46回九州ブロック大会アーチェリー競技表彰式
24(月)	いちき串木野警察署管内沿岸警備連絡協議会総会
25(火)	市認定農業者会総会
26(水)	かごしま森林組合第20回通常総会 (南九州市) 市共同募金運営委員会
28(金)	日置地区女性連ふるさとを興す大会
31(月)	県農業委員会女性委員総会

7/26

キッズイングリッシュキャンプ



小学4年生から中学2年生までの19名を対象に、中央公民館でキッズイングリッシュキャンプを開催しました。

今年は市国際交流協会と「波濤を越えてプロジェクト」との共催で、ロサンゼルスで小学校教員をしている鹿児島県出身の織田寿子先生を講師に迎え、タコス作りや英語でのワークショップ、映画鑑賞等、英語に親しむ体験をしました。

最後に子ども達は修了証書を授与され、異文化に触れる大変充実した一日となりました。

8/20

令和8年度介護認定審査会委員 感謝状贈呈式



本市介護認定審査会委員・介護認定審査会会長として21年間任期を務めた宮之原正和さんへ、市から感謝状を贈呈しました。

介護認定審査会委員とは、市民の方が介護サービスを使う際にサービス量や料金の基準となる介護度を、心身の状態や日頃の状況から判定・審査する専門家です。

本市にて長い間ご尽力いただき、ありがとうございました。

8/21

さつま日置農協より寄贈された “新米コシヒカリ”を学校給食で提供



さつま日置農業協同組合から市教育委員会へ日置産新米コシヒカリ170kgを寄贈いただきました。

同組合の能勢代表理事組合長は、「ひと粒ひと粒に生産者の思いが詰まった新米を、子どもたちにありがたいの気持ちで、おいしく食べてほしい。また、これを機に農業への理解を深めてもらえたら」と思いを述べられました。

寄贈いただいた新米は、9月2日の学校給食で提供し、子どもたちはおいしく食べました。

8/21

消防隊員の熱中症対策として “氷”の提供に関する協定を締結



消防本部は、日高水産加工有限公司と、「災害時における氷の提供に関する協定」を締結しました。

夏季の高温環境下に火災等の災害が発生した際に災害現場における消防署員や消防団員の熱中症対策として氷の提供を受けるものです。

日高代表取締役は、消防団員としても活躍されており、ご自身も炎天下での消火活動を経験された経緯などから、この度の協定締結にいたりました。

酷暑の中、長時間活動する消防隊員にとって、とても心強い支援であり、効果的な熱中症対策となることが期待されます。

8/22

市保育園連絡協議会が 「性の多様性に関する研修会」を実施



市保育園連絡協議会は、保育士向け研修会「あなたもわたしも、多様な性ととともに」を開催しました。講師は県内で講演活動を行う本市在住の正貴さんが務め、性の多様性への理解を深めました。

正貴さんは自身の体験を交え、「普通じゃないことが普通。例えば色や遊び方など“誰かの好き”や個性を否定されるのはつらいこと。子どもたちの好きを大切にしてほしい」と話しました。

また、カミングアウトへの適切な対応方法の説明もあり、参加者は真剣に耳を傾けていました。

吉尾匡平会長は「子ども一人ひとりに向き合い、時代に合った教育をしていきたい」と述べました。

「全国市町村教育委員会連合会表彰」等 受賞



本年5月、前教育委員の福山希さんが、「全国市町村教育委員会連合会表彰」及び「鹿児島県市町村教育委員会連絡協議会感謝状」を受賞されました。

福山さんは、平成29年11月から令和7年11月までの8年間にわたり教育委員を務められ、本市教育行政の重責を担い、教育の振興に大変貢献されました。

長年のご尽力に感謝します。誠にありがとうございました。

i (あい) がいっぱいあいさつ運動宣言団体の紹介

串木野神社

【取組内容】

- ① 近隣の保育園、企業の方々にあいさつ
- ② 下校の時間は子どもたちに安全の声掛け

【今後の意気込み】

あいさつ立哨を行い、本市に笑顔で明るく和やかなあいさつの声を響かせたい！

【市担当者から一言】

本市の中心に凛と佇む串木野神社から元気なあいさつを地域全体へ広げていただいています。



いちき串木野市地域女性団体連絡協議会

【取組内容】

- ① 交通安全の日に合わせて、あいさつ運動
- ② 会員同士であいさつをし、機運を高める

【今後の意気込み】

あいさつ運動を通じて、市民の安心・安全を守り、地域を盛り上げていきます！

【市担当者から一言】

「地域社会とともに生きる」をテーマに掲げ、あいさつ運動に明るい笑顔で取り組んでいただいています。



- まだまだ、あいさつ運動宣言団体を募集しています

「i (あい) がいっぱいあいさつ運動って何？」と思った方や、あいさつ運動に取り組みたいという団体は、右の二次元コードからご確認ください。

- 問合せ 社会教育課 ☎ 21-5128

